



産婦人科



スタッフ紹介

医師名【役職】		出身大学/取得年	専門分野	資格等
むらた ゆうじ 村田 雄二 【顧問】		大阪大学 1967年	周産期医学	日本産科婦人科学会：専門医 米国産婦人科専門医 米国周産期専門医 カリフォルニア大学アーバイン校 名誉教授 大阪大学医学部名誉教授 母体保護法指定医
やまさき まさと 山崎 正人 【非常勤】		長崎大学 1969年	婦人科腫瘍学	日本産科婦人科学会：専門医 日本婦人科腫瘍学会：専門医 日本臨床細胞学会：専門医 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 母体保護法指定医
みやたけ たかし 宮武 崇 【部長】		大阪大学 1998年	婦人科腫瘍学	日本産科婦人科学会：指導医・専門医 日本婦人科腫瘍学会：指導医・専門医 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会：技術認定(産科婦人科領域) ダウインチサージカルシステム認定医 日本臨床細胞学会：専門医 日本周産期・新生児医学会：NCPR Aコース修了 日本医師会：産業医 母体保護法指定医 厚生労働省 緩和ケア研修 修了



スタッフ紹介

医師名【役職】		出身大学/取得年	専門分野	資格等
おおにし じゅんじ 大西 淳仁 【副部長】		宮崎医科大学 1992年	婦人科腫瘍学	日本産科婦人科学会：認定医 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本婦人科腫瘍学会：指導医・専門医 宮崎大学医学部附属病院研修プログラム責任者 Certificate of da Vinci system training as console surgeon
はまだ しんいち 濱田 真一 【副部長】		近畿大学 1992年	周産期医学	日本産科婦人科学会：指導医・専門医 日本周産期・新生児医学会：暫定指導医 母体保護法指定医 ALSOインストラクターキャンディデイト
なんじょう さきこ 南條 佐輝子 【医長】		和歌山県立 医科大学 2009年		日本産科婦人科学会：指導医・認定医 日本周産期・新生児医学会：周産期専門医(母体・胎児) 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 共用試験医学系臨床研修実習前OSCE評価者認定 日本妊娠高血圧学会：ヘルスケアプロダクター 臨床研修指導医講習 修了 災害時小児周産期リエゾン 母体保護法指定医 新生児蘇生法「専門」コースA 修了 厚生労働省 緩和ケア研修 修了
まつき たかこ 松木 貴子 【医長】		金沢大学 2010年		日本産科婦人科学会：専門医 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本周産期・新生児医学会：周産期専門医(母体・胎児) 日本女性医学会：女性ヘルスケア専門医・認定医 母体保護法指定医 厚生労働省 緩和ケア研修 修了 日本周産期・新生児医学会：NCPR Aコース修了



スタッフ紹介

医師名【役職】		出身大学/取得年	専門分野	資格等
まつやま かなこ 松山 佳奈子 【医長】		関西医科大学 2012年		日本産科婦人科学会：専門医 日本周産期・新生児医学会：周産期専門医(母体・胎児) 母体保護法指定医 日本周産期・新生児医学会：NCPR Aコース修了 ダウインチサージカルシステム認定医 ALSOプロバイダーコース修了 厚生労働省 緩和ケア研修 修了
ますだ まさむね 益田 真志 【医長】		滋賀医科大学 2014年		日本産科婦人科学会：専門医
おがわ もえ 小川 萌 【副医長】		香川大学 2017年		日本産科婦人科学会：専門医 日本周産期・新生児医学会：NCPR Aコース修了 厚生労働省 緩和ケア研修 修了 NST(栄養学)講習終了 母体保護法指定医
たむら さとし 田村 聡 【副医長】		滋賀医科大学 2018年		日本産科婦人科学会：専門医 ICLS・JMECC 受講済 厚生労働省 緩和ケア研修 修了



スタッフ紹介

医師名【役職】		出身大学/取得年	専門分野	資格等
きょう まさえ 姜 雅衣 【医員】		徳島大学 2021年		
やました あきら 山下 央 【医員】		鹿児島大学 2021年		新生児蘇生法「専門」コース 修了
いしだ たかひろ 石田 貴大 【医員】		金沢大学 2022年		
さわだ だいすけ 澤田 大介 【医員】		大阪市立大学 2022年		



診療内容

■一般婦人科診療

- ・腫瘍(良性・悪性)、婦人科内分泌疾患、不妊初期診療
- ・不妊症例は府中のぞみクリニック、登録医と連携

■救急診療

- ・OGCS準基幹病院として婦人科二次救急の受け入れ
- ・急病救急部に受診された婦人科疾患への対応



診療内容

■一般産科診療

- ・総合病院の特質を生かしたハイリスク妊娠の受け入れ
- ・受け持ち助産師を症例に応じて設定し、地域連携を図る

■二次救急診療

- ・地域周産期母子医療センターとして二次救急の受け入れ

■胎児診断センターとしての機能

- ・胎児疾患のスクリーニング、診断目的の紹介を受け入れる
- ・胎児well beingの評価、診療への移行



実績

産科	2021年	2022年	2023年
年間分娩件数	981	901	832
帝王切開(予定)	135	124	140
帝王切開(緊急)	121	102	86
帝王切開率	26.1%	25.1%	27.2%

主な悪性腫瘍手術

	2021年	2022年	2023年
円錐切除術	59	52	66
子宮頸癌	3	6	2
子宮体癌	16	16	11
卵巣癌	8	17	15

主な良性疾患手術

	2021年	2022年	2023年
子宮全摘術	46	58	78
子宮筋腫核手術	9	12	8
卵巣腫瘍	5	6	3
異所性妊娠	1 (腹腔鏡下)	1 (腹腔鏡下)	1 (腹腔鏡下)

主な腹腔鏡手術

	2021年	2022年	2023年
子宮全摘術	19	35	50
良性卵巣腫瘍	5	4	1
卵巣嚢腫・膿腫	42	65	55



今後の課題と取り組み

- ・ **産科**
 - ・ 一般産科診療
 - ・ BFH(WHO 赤ちゃんにやさしい病院)認定時改善目標への取り組み
 - ・ MFICUにおけるハイリスク妊娠・分娩の積極的な受入
 - ・ 超音波専門外来の拡充、多様な出生前診断法の導入
 - ・ 二次救急診療
 - ・ 二次救急症例の受け入れ数・率の増加
 - ・ **婦人科**
 - ・ 婦人科診療
 - ・ 腹腔鏡手術の充実化
 - ・ レディース外来・病棟での悪性疾患包括的治療への取り組み
 - ・ **最優先課題：産婦人科医師・助産師のさらなる充足**
-